



2018・7・1

第 310 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

3000 万署名達成こそ安倍改憲阻止の保障

4 党が改憲手続法改定案を提出

自民党、公明党、維新の会、希望の党の 4 党は 6 月 27 日、改憲手続を定めた国民投票法の改定案を衆院に提出しました。改定案は商業施設での共通投票所設置など 7 項目。自民、公明両党は「この間の一連の公選法改正と横並びの『7 項目』であり今国会で成立を」と主張、野党各党に共同提案をよびかけましたが、改定内容に賛同していた立憲民主、国民民主の両党も応じませんでした。

自民、公明は、この改定案審議を突破口に憲法審査会の審議開始にこぎつけ、改憲案論議に結びつけようとしているのです。

25%の目標突破、さらに前へ

【愛知県知多郡阿久比町／阿久比の会】

「9 条改憲 NO! 阿久比(あぐい)の会」は、6 月 2 日、人口の 25%という 3000 万人署名の目標を突破、7176 人を集約しました。

知多半島の東部に位置する同町の人口は 2 万 8 千余。会は昨年 12 月 19 日に元公職者、文化人、僧侶、元会社社長を含む 13

人を賛同者に結成されました。

この間の活動で、200 人以上の町民が署名行動に参加・協力しています。各戸訪問は「知らないところを訪問すると勉強になる」(元大会社幹部社員) ことなどを励みに 20 回以上続け、「お茶会」を自宅で繰り返し開いて話し合った人、弁護士を講師にした学習会に 50 人が参加して力になったこと、賛同者連名のお願いと返信用はがきを配布するなど多くの経験や工夫が結実しました。

目標は、「掛け声」ではなく、「戦争したら取り返しがつかない」「戦争する国」にしているの?」との真剣な訴えが町民を励ましている一方、迷っている人にこそよりそって話し合うこと、断られた人にも再度話せば、変わっているかもしれないと何度も働きかけていることも重視されました。

改憲ノーを突きつけるためにまだまだ続けようと意気盛んです。

(憲法会議「憲法しんぶん」第 538 号)

改憲断念まで署名目標追求へ

【和歌山市／市民アクション】 「安倍 9 条改憲 NO! 『3000 万署名』和歌山市民ア

クシオン」は 22 日、交流学習会を和歌山市で開きました。

開会あいさつした神崎務氏は、3000 万署名が和歌山市で 22 日現在、2 万 3002 人分寄せられたことを報告。引き続き署名・宣伝を強めようと訴えました。

情勢報告した「憲法九条を守るわかやま県民の会」の西村佳三事務局長は、安倍政権が 9 条改憲の口実にしてきた北朝鮮問題で、米朝首脳会談など平和の方向で劇的な動きを示していることを指同。「それでも安倍首相は改憲をあきらめない。3000 万人署名で息の根を止めよう」と訴えました。

各団体から「戦争体験された人たちが率先して行動している」など報告がありました。

安倍政治終わらせ新しい社会を

【宮城県／県内九条の会連絡会】 宮城県内九条の会連絡会や「オールみやぎの会」など 5 団体で共催する「19 日行動」が 19 日、仙台市の繁華街で繰り上げられました。

さわやかな青空が広がる中、32 人が参加。「この国は二度と戦争をしないと誓った」と書いたのぼりを立て、「改ざん・隠ぺい、ウソとでたらめだらけの政権に憲法を語る資格がありますか？」と問いかけるビラ 300 枚を配り切りました。

参加者は交代でマイクを握り「安倍政権の腐敗政治をきっぱり終わらせ新しい社会をつくりましょう」と訴えて、安倍改憲ノ一の 3000 万人署名を呼びかけると多くの市民が足を止めました。

小学校 3 年の時終戦を迎え、戦中戦後、「一番つらいのは食べ物がなく、ひもじい思いをした」という、うたごえ九条の会の

佐々木久美子さん（82）がマイクを握りました。「悲惨な戦争の経験から生まれた憲法を守ることは、今を生きる私たちの責任」

佐々木さんから呼びかけられた仙台市内の女性（20）は「祖父も戦時中ひもじい思いをしたと言っていました。将来生まれてくる子どもや、家族のようにかわいいおいにも同じような思いをさせたくありません。とにかく戦争はいや」と署名しました。

市民と野党の共同が勝利の保障

【静岡県掛川市／掛川市民アクション】

憲法 9 条を守るか掛川市民アクションは 19 日夕、JR 掛川駅前毎月定例の 3000 万人署名の街頭宣伝を行い 20 人が参加しました。

横断幕、プラスター、のぼりなどで目立つように取り組み、若者たち、とりわけ高校生の男女と対話がすすみました。署名は 1 時間で 40 人分集め、半分近くは高校生でした。

「平和でこそ勉強もスポーツも音楽ものびのび楽しめるよね。恋愛だって戦争があったんじゃできないよ」などさまざまな会話がありました。

交代でマイクを持ち開業医、高校教師、市議、主婦、団体役員らが「平和憲法 9 条を守りましょう」「戦争に駆り出されるのは若者たちです。若者の未来がいつまでも平和であるように」と訴えました。

野党代表勢ぞろいで 3000 署名訴え

【山形県／やまがた県民の会】

「安倍 9 条改憲 NO！やまがた県民の会」は 21 日、山形市で集会を開き、「9 条守れ！政治の私物化は許さない！安倍内閣は退陣を！

ウソだらけの政治を変えよう！」のスローガンを掲げ、参加した 200 人が市内をデモ行進しました。

小口裕之同会共同代表は集会で「3000 万人署名運動の県内の署名数が 12 万人を超えました。安倍政権を退陣させ、平和憲法を未来に残そう」とあいさつしました。

国民民主党山形県総支部連合会の沖津一博幹事長が「野党が協力して国民を愚ろくする安倍政権を倒そう」、社会民主党山形県連合の木村正弘副幹事長が「延長国会での悪法ごり押しに地方から怒りの声をあげよう」と訴えました。

新社会党山形県本部の佐藤光弥副委員長は「安倍政権による働かせ方法案、9 条改憲、放射性廃棄物など、上から目線の強行は許されない」と訴え、共産党の本間和也県委員長は「財界のための働かせ方大改悪法案、カジノ法案を廃案にし、来夏の参議院選挙では市民と野党の共闘で勝利しよう」とあいさつしました。

舟山康江参議院議員の梅岸庸成統括秘書が「山形から野党共闘の力を発信し、安倍政権を倒そう」とよびかけました。

参院選で野党と市民の共同広げよう

【和歌山県田辺市／市民連合@田辺西牟婁】 「市民連合@田辺西牟婁」は 23 日、市民と野党の街頭宣伝を田辺市内で行い、社民党、共産党、自由党の代表が安倍政権の退陣を訴えました。

社民党県連の野見山海（あつみ）代表は「安倍政権の独裁、加計・森友学園問題は、許すことはできない。来年の参議院選挙で野党の議席を伸ばし、自民党の議席を減ら

したい」と述べました。

共産党の下角力県委員長は「安倍政権は憲法 9 条改憲をねらっている。安倍政権を倒すために参院選で市民と野党の共闘を広げるために全力をあげます」と訴えました。

自由党県連の内海洋一代表は、「安倍政権は国民の格差を広げ、政治を私物化し、憲法をふみにじっている。政党にはいろいろな考え方があるが、その枠組みはすべて立憲主義です。国民のための政治をとりもどしましょう」と訴えました。

よくなった手ごたえに励まされ

【愛媛県松山市／憲法 9 条を守る久米の会】 憲法 9 条を守る久米の会は 23 日、久米校区内を戸別訪問し、3000 万人署名への協力を呼びかけました。4 人が参加し 1 時間で 15 人分の署名を集めました。

昨年 12 月から毎月第 2、第 4 土曜日に戸別訪問しています。

署名した女性（43）は「子どもが男の子なので、戦争になると兵隊にとられるでしょう」と話し、松本満子事務局次長が「私も男の子の孫がいて」と応じ、話がはずみました。80 代の女性は自衛隊は必要やけど戦争はいかん」と署名しました。

松本さんは「署名を集め始めた頃と比べて、反応は良くなっている」と話しました。

自衛隊明記に当事者の受けとめ

【宮城県／みやぎ弁護士 9 条の会】 安倍首相の自衛隊を憲法に書き込む改憲案を、当事者がどう捉えているのか。自衛隊・防衛省の元幹部に問う座談会が 6 月 23 日、仙台市で開かれました。みやぎ弁護士 9 条

の会が主催し、約 100 人が参加しました。

座談会には、柳澤協二氏（元内閣官房副
長官補補）、林岩永氏（元航空自衛隊幹部候
補生学校校長・元空将補）、松竹伸幸氏（か
もがわ出版編集長）が登壇。佐久間恵子代
表世話人のあいさつのあと、テーマに沿っ
て各人が弁護士の質問に答えました。

林氏は、9 条の価値は、自衛隊員の武器
使用の正当性をはかるリトマス試験紙（チ
ェック機能）だと強調。「文民統制が劣化す
ると戦前の日本に先祖返りする。政治が勇
ましくなると危険だ。そのためにも 9 条は
大切」と述べ、安倍改憲案は、9 条のチ
ェック機能を弱め、政権が自衛隊を使いやす
くするためのものだと指摘し、安易な改憲
への危機感を示しました。

柳沢氏は、国を守るとは、憲法が示す国
民主権と基本的人権が尊重される国を守る
ということだと強調。「そういう国の姿を壊
してまで、テロ対策や防衛政策を進めてい
いのか。憲法が示す国の姿を守るのは、自
衛隊ではなく、国民がやらなければならない
」と主張しました。

「個人」尊重の原則転換の自民改憲案

【新潟県／新潟大学 9 条の会】 安倍首
相が進める 9 条改憲の動き前に、今こそ日
本国憲法の価値を知ろうと、新潟大学 9 条
の会は 19 日、新潟市の新潟大学構内で伊藤
塾塾長の伊藤真氏（弁護士）を招いた講演
会を開き、学生や院生、教授らが詰めかけ
ました。

伊藤氏は、日本国憲法が一番大事にして
いるのは「個人」として切り出しました。
戦前の日本社会が「家」制度のもとに個人

を徹底的に排除し、天皇という家父長の命
令で侵略戦争に突き進んでいったと紹介。
自民党改憲草案では、憲法 13 条の「個人と
して尊重される」を「人として尊重される」
と変え、再び個人の上に国家を置こうとし
ていると批判しました。

アメリカ海兵隊の新兵訓練や戦場帰還兵
の苦しみを紹介し、「自衛隊が軍隊になれば、
当然起こりうること。9 条を変えることは、
こういうこと」と指摘。今必要なことは萎
縮しないで声をあげること、戦争の悲惨さ
への想像力を持つことだとし、憲法を自分
のものとして活用しようと訴えました。

講演を聞いた新潟大の男子学生は「理路
整然としていて、内容もすごく伝わってき
た。戦前みたいになってしまわないように、
安倍政権の動向にはもっと注目しないとい
けない。今日は、政治的な流れを知るきっ
かけになりました」と話していました。

「九条の碑」 建立し決意新たに
【愛媛県大洲市／憲法 9 条をまもる大洲の
会】 憲法 9 条をまもる大洲の会は 23 日、
「憲法九条の碑」を建立し、安倍 9 条改憲
阻止へ決意を新たにしました。

大島石の石碑は、高さ 1・1 メートル、
横 1 メートル、重さ約 1 トン。ミカン色の
「九条」の文字と、9 条全文が刻まされてい
ます。

落成式には、会員ら 16 人が参加。河野朋
子代表世話人は、「2005 年 4 月に会が発足
し、草の根の活動を続けてきました。平和
は世界中の人の願望であり、9 条はりんと
して不滅です。いっそうの平和活動を続け
ることを誓います」とあいさつしました。